

令和3年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立砂山小学校

作成日

令和 4年 3月 4日

1 教育目標

豊かな感性と知性を身につけ、たくましく生きる子供を育てる

【めざす子供像】

「す」てきな言葉いっぱい 「な」かよしの輪いっぱい 「や」る気いっぱい 「ま」ごころいっぱい

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る。 ○子供がわかる授業、子供主体の授業実践をする。(90%)	○いじめのない学校づくりをする。(100%) ○地域の特性をいかしながらの道徳・人権教育の充実。(90%) ○挨拶のできる子供、清掃活動に励む子供の育成(90%) ○保護者と共に学ぶ機会をもつ。(80%)	○「早寝・早起き・朝ごはん」に家庭で取り組むとともに、全校で体力づくりをする。(100%) ○避難訓練を年3回計画・実施する。(100%) ○SNSの使い方等のネットモラルについて家庭と連携して取り組む。(90%)	○学校の情報を発信し、子供たちの活動の様子等を保護者と地域に伝えられるようにする。(90%) ○校区で接続、連携の充実に向け、実践する。(90%)
意見重点目標に対する	○コロナ禍という厳しい状況ではあるが、すべての子供に豊かな学びの場の保障し、基礎学力の向上を図っていききたい。	○学校評価アンケートを見ると、学校が楽しく、友達と仲よくしている割合が高うれしく思う。また、将来社会生活や働く中で重要な項目「掃除・挨拶」が9割以上ということで、一安心です。10割に限りなく近づいてほしい。	○保護者、地域と連携しながら家庭教育支援の充実を図っていききたい。 ○防災学習の充実を図る。	○学習支援や読み聞かせに加え、昨年ではできなかった家庭科の授業支援も行うことができた。コロナ禍のため、制限された中で「地域先達」の取組であったが、方針は良いし、今後も進めていくべきである。
意見取組状況に対する	○令和3年度全国学調の結果の概要と具体的な取り組みについては、正答率に一喜一憂するのではなく、結果をきちんと分析し、地道に課題解決の具体的な取り組みを提案していただけることで、学校運営協議会においても協力していける範囲が広がってくるのではないかと考える。	○50年以上も続こう学校児童生徒との交流は、子供たちにとって計り知れない大きな学びとなっています。 ○先日と歌山ろう学校の校内研修で講師をしてくださった大学の先生が、講話の中で、砂山小学校を卒業した学生が小学生時代にろう学校と交流した経験を熱く語っていたと話されていました。有意義な活動を今後も末永く継続していききたいです。	○SNSの使い方等のネットモラルについての学校の具体的な取組への質問 ○遅刻の状況や朝ごはんを食べて来ていない子はどれくらいいるのか。また、家庭の状況はどのようなものか。	○コロナ禍の中であまり学校に行く機会がなかったため、HP等の積極的な活用は良かったと思う。
に取組する適切さの検証結果	○学習全般で、提示された情報から必要な事柄を取り出し、要点を捉えながら解答を導き出し、自分の考えを作り出す経験を積み上げていく必要がある。 ○意図的、計画的に宿題を出す等、家庭学習の充実を図っていく。	○目標(指標)設定との関わりで、いじめの早期発見、早期解決を目指す取組の推進が必要になり、保護者とも連携しながら進めていく必要がある。 ○保護者、地域に学校の状況を積極的に発信し、学校と保護者、地域が相互理解しながら学校教育を進めていく必要があると考える。	○学校としての取組は進めていると思うが、学校だけでは解決できない家庭支援の課題が浮き彫りになってきたと感じる。 ○教育委員会や地域の協力を得ながら、「早寝・早起き・朝ごはん」等の家庭教育の推進に積極的に取り組んでいきたい。	○砂山支所を通して、学校便りを地域に配布しているが、学校の様子を知っていただく機会となって良かった。 ○修学旅行や加太合宿等の学校行事等を、HPで掲載する機会も増えて、学校に行かなくても様子が分かって良かった。
改次善年度法にに向けての意見	○GIGAスクールパソコンを使用した授業改善に積極的に取り組み、授業参観や集会発表のWEB発信等も充実させていきたい。 ○昨年度から話題になっていた県立和歌山商業高校生徒を放課後学習ボランティアとして小学校に派遣することは双方にメリットがあり、是非実現したい。	○人権参観は保護者の啓発にもなるためこのまま続けていきたい。 ○保こども園、中高生、ろう学校児童生徒との交流を積極的に進めることにより子供たちの心の教育をより一層推進してほしい。	○家庭において下記5点について、保護者に協力していただき、子供の自主性を育てていく。 ①生活リズムを整える。 ②学習の計画を立てる。 ③学ぶ雰囲気をつくる。 ④努力を認め、励ます。 ⑤親子の会話を大切にする。	○地域の皆様にご協力いただき、地域先達事業をより拡大充実させていきたい。 ○今年度コロナ禍のために、県立和歌山商業高校読書部のみなさんが行ってくれていた読み聞かせ教室が実施できなかった。来年度はぜひ実施したい。

3 其他のご意見

○コロナ禍の中でしたが、砂山小学校創立100周年記念式典や記念集会、記念誌作成等を、学校、保護者、育友会、地域が連携協力して取り組むことができました。学校運営協議会委員様には、記念式典に来賓として出席していただきましたが、前向きな貴重なご意見をたくさんいただきました。○子供たちがICT機器を持ち帰りWEB授業やWEB授業参観の取組等、できないとあきらめるのではなく、挑戦していく学校、先生方の努力に感謝いたします。
○コロナ禍での学校教育について、困難なことが多々あったことと思いますが、今年度の取組を振り返り、来年度の砂山小学校の教育活動がより充実したものになるように工夫改善していったほしい。